

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院看護部は、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：薬物依存症患者に対する看護師の認識と多職種連携の現状と課題

KJ法を活用した看護師への面接内容の構造化

1. 研究の概要

現在のわが国は、薬物乱用拡大の危機に直面しており、これまでも、薬物使用者による重大な死傷事故等が発生し、薬物犯罪は安全・安心な暮らしを脅かしています。刑務所では、毎年6,000人以上の者が薬物依存離脱指導を受けています。研究者は刑務所にて薬物事犯者処遇カウンセラーとして薬物事犯者への面接を通して離脱指導の役割を担っています。しかし、面接を通して思うことは、薬物依存症の治療のために依存症専門病院への受診やダルクを始めとする中間回復施設への入所などを考えている薬物事犯者はごくわずかです。ほとんどの人は、出所後は、地元へ帰省しての生活を希望しており、薬物を再使用する環境に戻ってしまっています。

薬物事犯者は、犯罪者であると同時に診断基準のある精神障害のひとつである薬物依存症として病気としての側面もあります。国としての取り組みは、刑の一部執行猶予に関する法律が施行され、依存症治療を専門とする医療機関や支援施設の不足を解消する対策が行われています。依存症は適切な治療と支援によって回復可能な病気であるにもかかわらず、依存症治療を専門とする医療機関や支援施設が全国的に不足しています。

そのため、現在、薬物依存症の治療を行う上で一番身近な支援者である看護師が、どんな思いで薬物依存症患者と向かい合っているのか、薬物依存症患者が退院するために、どんな多職種連携が行われているのかを調査することにしました。そのため、インタビューを行った「**薬物依存症患者における他職種連携の現状と課題**」のデータをもとに、研究のデータを細分化する分析や分類で行うのではなく、看護師の語っている思いの本質を明らかにするKJ法で調査をすることにしました。

本研究は、宮崎大学医学部附属病院 看護部を主たる研究機関として実施する多施設共同研究であり、以下の研究体制で実施いたします。

【実施責任者・主任研究者】

嶋元 和子 宮崎大学医学部附属病院 看護部 看護師長

【共同研究機関】

宮崎刑務所 篤志面接委員会 理事 鍋島 まゆみ

【プロジェクト全体の統括責任者】

嶋元 和子 宮崎大学医学部附属病院 看護部

この研究は、本学と下記の研究機関との間で、法令等に準拠して作成した共通の研究計画書に基

作成日

2020年6月26日 第1版作成

2021年3月17日 第2版作成

づいてグループを形成し、共同研究として実施されます。したがって、本研究に参加する研究機関は、共通の研究目的と実施計画の下に一体的に学術研究活動を行っております。

2. 目的

本研究は、看護師が薬物依存症患者を援助するにあたって、どんな思いをもっているのか、また退院に向けて地域の社会資源の活用の現状と課題を明らかにすることを目的としています。なお、この研究は、薬物依存症の看護に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. この研究は、倫理委員会承認後から 2022 年 3 月まで行われます。

4. 対象者

「薬物依存症患者における他職種連携の現状と課題」(研究実施期間 2017 年 3 月 22 日～2018 年 3 月 31 日) インタビュー調査に参加した方が対象となります。

5. 方法

対象となる看護師へのインタビュー調査の既存情報を利用させていただき、これらの情報をもとに、看護師の思いの本質を明らかにするために、取材したデータを別の分析方法で再分析することにしました。

【本学における個人情報管理者】

宮崎大学医学部附属病院 看護部 看護師長 嶋元 和子

【本研究で利用する情報の内容】

宮崎大学医学部医の倫理委員会の承認後、2017 年 3 月 22 日～2018 年 3 月 31 日の研究期間に作成したインタビュー調査の既存情報

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報(どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

作成日
2020年6月26日 第1版作成
2021年3月17日 第2版作成

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する講座の法人運営費で賄われます。

なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院 看護部 看護師長
氏名 嶋元 和子
電話：0985-85-9207
FAX：0985-85-9493